



# 横浜訓盲学院 だより

第35号 (2015年11月号)

2015年10月29日発行

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地 URL : <http://kunmou.jp/>

事務部

普通部

理療科

TEL:045-641-2626 FAX:045-641-2627

TEL/FAX:045-662-1710

TEL/FAX:045-662-1833

E-mail : [jimu@kunmou.jp](mailto:jimu@kunmou.jp)

E-mail : [futsuu@kunmou.jp](mailto:futsuu@kunmou.jp)

E-mail : [riryuu@kunmou.jp](mailto:riryuu@kunmou.jp)



学院長 中澤 恵江

## 朝の出会いと挨拶の大切さ

朝、普通部の幼児児童生徒たちは9時少し前に登校してきます。学部にかかわらず、どの教員も近くにいる子どもたちと積極的に挨拶をします。通常の学校の場合は、子どもの顔を見ながら「おはようございます！」と言いますが、盲学校では子どもの「名前」をかならず呼びかけてから挨拶をします。「おはよう」だけでは、その挨拶が誰に向けられているのかが分からないからです。

さらに、どの教員が挨拶してくれたのか子どもがよく分からない場合は、教員は自分の名前も名乗り、身につけている各自の名前シンボルを子どもに触ってもらいます。なお、聴覚障害のある子どもには手話や体に触れるサインを用いています。この朝の挨拶を通して、子どもたちは自分の所属するグループ以外にも学院には多くの子ども達やいろいろな教員たちが今日も来ているということを知ることができます。

朝の挨拶にはもう一つ大切な機能があります。それは他者との接点をつくるやり方を育てていくことです。「もの」と違い、人は一瞬一瞬変化をします。自分一人での安定した状態に比べ、他者と出会うことは、予測のしにくい状況であり緊張を生じさせます。特に、盲あるいは盲ろうの子ども達は視覚・聴覚情報の入力に限られるため、出会った相手が受容的・友好的なのか、あるいは指示的・非友好的のかを確かめることが難しいです。このような時、見えて聞こえる私たちは、相手のまなざしや笑顔で友好的かどうかを把握し、挨拶のあとの会話に「乗って」相手に共感したり、互いの健康を気遣ったりすることで心を和らげ、関係がつながるようにします。このような一連の「挨拶の儀礼」が自然と行われるようになると、他者との関係を始めたり調整したり、相互の感情を理解するきっかけをより容易につくられるようになるように思います。人とのやり取りを自ら開始したり調整できる力、感情を共有できることは、主体的にそして幸せに他者と共に暮らすための土台になると考えています。

「挨拶の儀礼」の学びは、玄関周辺を「教室」として、児童と教員の楽しいやり取りの中で、今日もじつくりと進められています。



### 「神は、世を愛された」

ヨハネ福音書3章16節

《11月の聖句》神は、この世界を愛されイエスを遣わされました。



小中  
グループ

## 夕涼み会

今年の夕涼み会は、4人の子どもたちと保護者等17名で行いました。

いつもはみんなで夕食作りをするのですが、今年は猛暑の為「プール」に入り、のんびりと遊びました。夕食のメニューは生徒が腕をふるったスパゲッティ、サラダ、カレーライス、パンケーキなどでした。みんなでいっぱいお話をしながらおいしくおなかいっぱい食べました。

食事の後はスイカ割りをしました。スイカを膝に抱えて、叩いたり持ち上げたりしてから割りました。毎年やっているだけあり、棒の持ち方やスイカに当てることも上手に出来ました。順番を待っている間もスイカに棒が当たる音を楽しそうに聞いていまし

た。スイカが割れると「すごいね!」と手で触って楽しみました。辺りが暗くなってきたら盆踊りタイムです。和太鼓の音が夏の夜を盛り上げ「まえまえウシロウシロ!」とみんなで踊りました。

あっという間の時間でしたが、子どもたちは保護者の方や兄弟姉妹と楽しく過ごすことができた夕涼み会でした。



高等部  
専攻科生活科

## 社会体験学習



高等部専攻科生活科では、夏休み開始時期の7月28日、29日、30日の日程で校外での社会体験学習に取り組みました。今年は、

みなとみらいバスの旅、横浜駅構内探索、電車の旅の3つのグループに分かれて体験を行いました。それぞれの旅を紹介します。

みなとみらい組は山手駅周辺から「あかいつ号」というバスに乗り、大榎橋とみなとみらいクイーンズスクエア、横浜中華街に行きました。

横浜駅組は、そごうとベイクォーターを探索して帰りはバスに乗って学院に帰ってきました。

電車の旅は横浜駅から相鉄線に30分以上乗って、湘南台駅周辺にある文化センターに行き、ボリューム満点のランチを食べました。

生徒はそれぞれのグループが向かった場所でおいしい昼食を食べることを楽しみ、バスや電車の利用も安全に行い、楽しい体験をすることができました。暑い夏休みに良い思い出を作ることができました。



## 視覚障害



## 弱視(ロービジョン)の理解について

ロービジョンという言葉で皆さんはどういうイメージを持たれるでしょうか。近視の重いものだと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、一般的にはそんな理解のされ方をしているようです。

ところがそんなイメージとはずいぶん違うのがロービジョンです。ロービジョンケアの最も大事なことは、みんなそれぞれ症状が違うということです。日によって時間によって距離によって・・・とにかく違うのです。

だからロービジョンで一番大切なことは、「ちゃんと見えますか」とロービジョンの方に確かめることです。そしてご本人からいろいろな情報を得てください。ただしロービジョンの方で先天的な障害をお持ちの方は、見え方の表現が困難なようです。どうぞじっくりつきあって、ゆっくり聞いてあげてください。

高等部  
普通科

## 作業所実習



夏休みを利用し、2年生5名が作業所見学、3年生1名が作業所実習を行いました。3年生の生徒は、泉区にある『ぴぐれっと1』で一日実習を行いました。初めての場所に緊張していましたが、自分から積極的に挨拶し、介助員さん

や利用者さんと交流を図っていました。

午前には自動販売機のドリンク補充の仕事をしました。缶ジュースがたくさん入った重い箱を車に積み入れることや、缶ジュースを一つずつ自動販売機に入れていく作業を行いました。初めて自動販売機の扉を開けて中を見た時は、目をまん丸にして驚いていました。

午後はポストイングの仕事をしました。地域の広報誌を家一軒一軒歩いて届ける仕事でしたが、猛暑の暑さともいわずに、張り切って歩き続けてポストの中に入れていました。介助員さん、利用者さんに仕事を教えてもらいながら、楽しく仕事に励むことができたことに大きな成長を感じました。



## 助成金贈呈式



9月9日(水)、「みずほ教育福祉財団」様より助成金の贈呈式が横浜訓盲学院会議室にて行われ、同財団の上田靖常務理事と真鍋公典教育事業部長が来校され、目録をいただきました。今年度の助成金で、「割れない鏡」と「経穴人形」を購入することができますことに感謝いたします。

9月14日(月)、「神奈川韓国青年商工会」様主催による社会福祉のためのチャリティーゴルフ大会の席上にて、寄附金の贈呈式が行われ、中澤恵江学院長が同会の趙英鎬会長より寄附金をいただきました。また当日は、当学院理療科の卒業生5名がマッサージの施術を行い、理療師としての腕前を同会の会員の方々に披露しました。

あたたかいご支援・ご配慮を頂きまして、誠にありがとうございます。



## 臨床実習のご案内

★あんま・マッサージ・指圧・はり灸・水・木・金曜日

当学院の理療科では、教育課程にて一般の方を対象に、あんま・マッサージ・指圧・はり灸の実習を行っています。施術については、生徒が教員の指導の下、行っておりますので安心して受けて頂けます。利用者様からは「気持ちよかった～」、「痛みが取れました～」等、喜びのお声を頂くこともあります。こうした生の声が生徒にとって、よりいっそう立派な治療家を目指す励みになっております。みなさん是非とも一度、理療科臨床実習室へお越し下さい。明るく笑顔でお待ちしております。



料金 一律 1,000円

時間 前半 9:50～  
(各50分ずつ) 後半 10:50～

◆ご予約はお電話で!  
当日の朝 8:45～9:10

電話 090-9009-5882

◆お問い合わせは理療科まで  
電話 045-662-1833

思う  
ツボ

## アンチエイジングと養生法

健康の為に体を冷やさない、冷たい物をたくさん飲まない、脂っこい物・甘い物を食べ過ぎない、睡眠をしっかりとり、ストレスを溜め込まない…、最近よく聞いたことがある内容だと思います。今風にいうアンチエイジング、東洋医学でいう養生法です。

古い医学書である黄帝内経素問(こうていだいけいそもん)の中の「上古天真論(じょうこてんしんろん)」によると、人は両親から受け継いだ先天の精を持って生まれ、年を取るにつれ先天の精が少なくなっていく、老年期を迎えます。人は誰でも年を取りますから、年齢相応の健康を保ち、美しい年の取り方をすることが大切なのです。

若いときから極端に不摂生な生活を送ると、先天の精を消耗し、老化が早く起こることになってしまいます。普段から健康に気を付け、自分の体を大切に生きることが養生法の実践への第一歩なのです。

◎平成27年度後期の主な行事予定◎

- 11月** 6日(金) 理療科遠足
- 14日(土) 関東地区盲学校陸上競技大会
- 21日(土) P T A バザー
- 27日(金) 理療科解剖見学
- 12月** 5日(土) 普通部 第1次入学検定
- 12日(土) 神奈川県盲学校サウンド・テーブルテニス大会
- 22日(火) 理療科生徒会クリスマス会
- 23日(水・祝日) クリスマス礼拝・祝会
- 25日(金)~1月7日(木) 冬休み
- 1月** 16日(土) 理療科 第1次入学検定
- 23日(土) 学校開放「お餅つき」
- 2月** 27日(土) あん摩マッサージ指圧師国家試験
- 28日(日) はり・きゅう師国家試験
- 3月** 4日(金) 普通部保護者参観日
- 18日(金) 平成27年度卒業式・修了式

学校開放

例年、ご好評を頂いております学校開放ですが、今年度は全2回実施となります。



第1回は10月3日(土)に移動動物園を行い、たくさんの方にお越しいただきました。今回も川崎市にある福田牧場の方々にご協力いただき、羊、ウサギ、ひよこ、かめ、ポニーなどたくさんの動物に触れ、えさをあげる体験ができました。動物が大好きで積極的に触る人、緊張して遠くから見守っている人など、それぞれいろいろな表情が見られましたが、小さいお子さんから高齢の方まで、多くの方々に楽しんでいただけたと思います。

第2回は平成28年1月23日(土)に餅つき大会を行います。近くなりましたら、当学院のホームページや掲示板にも案内を掲載いたしますので、ご参照の上、是非ご来場を頂きたいと存じます。



11月21日 PTAバザーのご案内



今年も恒例となりましたPTAバザーを開催致します。焼きそば、炊き込みご飯等の模擬店、生花の鉢植え、普通部生徒による手作りお菓子・雑貨などの販売の他、理療科では生徒によるクイックマッサージ等が催されます。

ぜひ、お立ち寄りください。また、バザーに提供できる物品等がございましたら、是非ご協力下さいますようお願い申し上げます。

□日 時:11月21日(土)  
12:00~15:00(雨天決行)  
□場 所:横浜訓盲学院 前庭・講堂など



平成28年度生徒募集

【普通部】 幼児・児童・生徒募集

- 募集定員
 

幼稚部 (3歳児・4歳児・5歳児)	計6名
小学部	1年生4名
中学部	1年生4名
高等部普通科	1年生4名
高等部専攻科生活科	1年生4名
- 募集期間
  - 《一次》平成27年10月28日(水)~平成27年11月20日(金)
  - 《二次》平成28年 1月12日(火)~平成28年 2月26日(金)
- 入学検定日
  - 《第1回検定日》平成27年12月5日(土) 午前9時~
  - 《第2回検定日》随時。
- お問い合わせ
 

普通部 (直通) TEL.045-662-1710

【高等部理療科】 生徒募集

- 募集定員
 

高等部専攻科保健理療科 (3年課程)	1年生4名
高等部専攻科理療科 (3年課程)	1年生8名
- 募集期間
  - 《一次》平成27年10月28日(水)~平成28年1月8日(金)
  - 《二次》平成28年 1月18日(月)~平成28年3月4日(金)
- 入学検定日
  - 《一次》平成28年1月16日(土) 午前9時~
  - 《二次》随時。出願書類提出後、調整のうえ試験日を定め実施。
- お問い合わせ
 

理療科 (直通) TEL.045-662-1833

●ご協力をお願い●  
(平成27年度 賛助会員)

私どもの視覚障害教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせていただいております。よろしくお祈り申し上げます。

- 【年会費】 団体会員(1口)10,000円/個人会員(1口)1,000円(口数は問いません)
- 【お支払い方法】 ・郵便振替[加入者名]学校法人横浜訓盲学院(口座番号00200-5-40861)  
・現金
- 【その他】 会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。
- 【免税措置】 ・会費は寄付金として扱われ、横浜訓盲学院より領収書が発行されます。  
・当校は特定公益増進法人の認可を受けておりますので、法人の場合は、一般の寄付金とは別枠で免税会計処理ができます。  
・個人の場合は、2,000円を超える金額に対して免税されます。
- 【お問合せ先】 横浜訓盲学院 事務部 TEL.045-641-2626